

全文「ですます」調でお書きください。

様式 2

## 課題情報シート

テーマ名 :	うれしい!たのしい!うちな~弁当 (オリジナル商品開発・ブログ作成)		
担当指導員名 :	與儀 直美	実施年度 :	26 年度
施設名 :	沖縄職業能力開発大学校		
課程名 :	専門課程	訓練科名 :	ホテルビジネス科
課題の区分 :	総合制作実習課題	学生数 :	3 人
		時間 :	12 単位 ( h)

### 課題制作・開発のポイント

#### 【開発（制作）のポイント】

沖縄の食材「ハンダマ」は栄養価が高く鉄分やβカロテン、アントシアニンが多く含まれ、貧血や視力、肝機能回復にも効果があります。栄養分をより効果的に吸収する調理法の工夫、また茹でる水の成分を変える事により（酸性、中性、アルカリ性）、違う色の茹で汁を作ることができました。その茹で汁でお米を炊き天然着色剤として活用することができました。

#### 【訓練（指導）のポイント】

商品開発の基本として、ターゲットの明確化、ニーズ調査、マーケティングの重要性を知ってもらいました。当初学生達の考えていた事とマーケティングの内容にギャップがあり、求めるニーズに合わせた商品開発へと方向を転換しました。素材の持ち味を最大限に生かす調理法を研究させる事で、県産素材の魅力発見と「食育」の観点からも研究内容を深めていく事ができました。

また、情報発信の第1歩としてブログ作成を行い簡単にできるキャラ弁レシピの案内、アンケートへの質疑応答など今できる事から始める行動力、実践力を習得させる機会とする事ができました。

### 課題に関する問い合わせ先

施設名 : 沖縄職業能力開発大学校  
住所 : 〒904-2141 沖縄県沖縄市池原 2994-2  
電話番号 : 098-934-6282 (代表)  
施設 Web アドレス : <http://www3.jeed.or.jp/okinawa/college>

### 課題制作・開発の「予稿」および「テーマ設定シート」

次のページ以降に、本課題の「予稿」および「テーマ設定シート」を載せています。

# うれしい!たのしい!うちな～弁当

～オリジナル商品開発、ブログの作成～

沖縄職業能力開発大学校 ホテルビジネス科

## 1. はじめに

現在、ネットや本などで様々なキャラクター弁当、通称キャラ弁・デコ弁が紹介され、レシピ本やキャラ弁を作るための道具なども発売されるなど、ある一種の時流ともなっている。しかし、その一方で、キャラ弁を作れる家庭と作れない家庭がある、見た目を重視し味や栄養面が偏る恐れがある等の理由で一部の幼稚園では禁止されている現状もある。そこで私たちは、「食育」の観点からこのようなデメリットを払拭し、忙しい家庭でも気軽に利用できるキャラクター弁当の作成を行うことにした。

## 2. 目標

子供の栄養やカロリーを考慮し、作成にかかる時間を短縮できるメニューを考え、忙しい家庭でも気軽に利用できるものを作成する。また地元の食材、子供に人気のキャラクターを使用し、彩り豊かに見た目も楽しいものとし、子供にも親にも喜んでもらいたいと考えた。

## 3. 調査研究内容

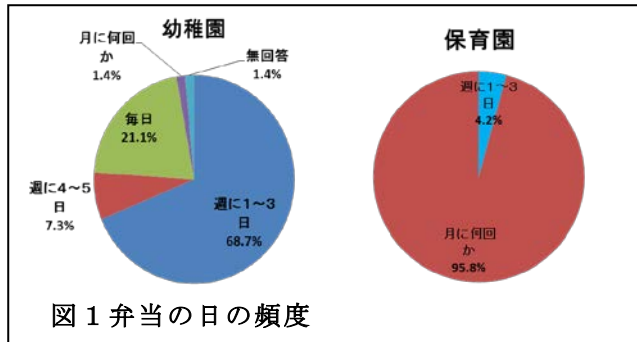
- ・市立幼稚園の保護者へのキャラクター弁当に関するアンケート
- ・ハンダマを使用した着色の実験
- ・オリジナル商品の考案・制作

### (1) 幼稚園等へのアンケート概要

- ・対象  
沖縄市内の幼稚園、保育園の保護者
- ・実際にご協力頂いた園  
幼稚園 6 箇所、保育園 3 箇所  
合計 403 部

### (2) アンケート結果

「お弁当の日」の頻度は幼稚園では週に1～3日、保育園では月に何回かが最も多く、9割が弁当は自分で作っていることが分かった。



また、過去にキャラクター弁当を作ったことがあるかの問いに対し、仕事をしているかどうかに関わらず割合は同じで、7割の人が作ったことがあることが分かった。また、キャラクター弁当を作るきっかけとして、「子供が喜ぶから」「残さず食べてくれるから」等の答えが多く、子供が楽しくお弁当を食べるために工夫をするお母さんたちの姿がうかがえた。お弁当を選ぶ上で優先されるのが栄養、安全性であった。子供が好きなキャラクターも聞いてみたところ、男女問わず人気だったのが「妖怪ウォッチ」だった。アンケートの結果から、保護者の方は簡単に作れる物、新しいレシピなどを求めていることが分かった。これらを踏まえ普段の料理にプラスできる一品、簡単で素早くキャラクター弁当に出来る物を考案することにした。

### (3) ハンダマを使用した着色の実験

沖縄の食材、ハンダマは栄養価が高く鉄分やβカロテン、アントシアニンが多く含まれている。これらの栄養素は貧血や眼精疲労の回復、視力の向上、肝機能回復にも効果があり、古くから血の薬、不老長寿の薬と呼ばれ食べられてきた。ハンダマの鮮やかな紫色に着目し、その茹で汁を利用してご飯を安全に着色することでキャラクター弁当の一部として採用できないか考えた。紫

色の色素アントシアニンは、茹でる水のPHによって色が変わることが分かった。そこで酸性、中性、アルカリ性の水を用意し、何色になるか実験を行った結果、お酢の入った酸性の水は紫色、何も入れてない中性の水は緑色、インゲンと一緒に茹でたアルカリ性の水は紺色になることが分かった。更に、その茹で汁を使ってご飯を炊いた所、少量のお酢を加え炊く事でピンク色のご飯を作ることができた。ただしお米は酸性であるため、緑色や紺色に着色することはできなかった。

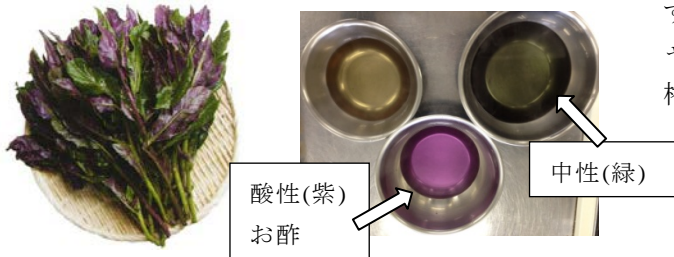


図2 ハンダマと実験結果

#### 4. 試作品作成

インターネットで調査したキャラクター弁当のレシピを実際に作成し、そこから得たアイデアをもとにオリジナル商品の考案、制作を行った。実際にキャラクター弁当を作成した結果、手間や時間がかかる、切り取りや加工で食材を直接触ることが多いため衛生面が問題であることが分かった。これらの点を踏まえて、ハンダマの実験で作成したピンクのご飯を使用し、キャラクターのおにぎり作りを行った。おにぎりにした理由は、様々な形に加工しやすい、中に入れるおかずを工夫することでバランスよく栄養を取りやすい、お弁当に詰めやすい、などがあげられる。

妖怪ウォッチや、リラックマなどアンケートで人気のあったキャラクターを主に作成した。クオリティの向上、綺麗に見せるためのパックの考案など、まだまだ工夫が求められる。



図3 オリジナル商品の作成

#### 5. 今後の目標

アンケートの結果、「食育」の観点からも見た目が子供達に与える影響は大きいことが分かった。今後は試作品づくりでの改善点をふまえ、地元の食材をうまく利用し、普段のお弁当にプラスできるような簡単でかわいいおかずを作りたい。また、おにぎりだけでなくウインナーや卵などの加工品を作成し、個別で販売するだけでなく、これらをまとめて一つのパックにして販売することを目標としている。また、実際にどのキャラクターを用いて商品化を行うか厳選し、著作権の使用許可を取っていく所存である。

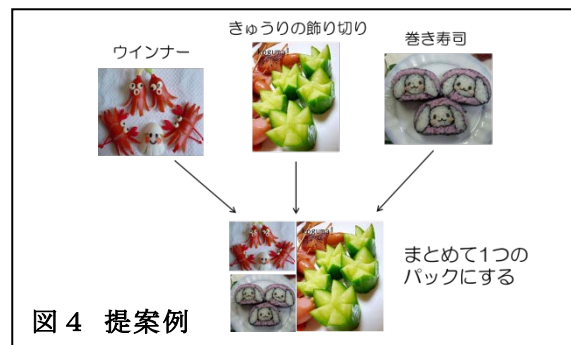


図4 提案例

現在、私たちの活動内容を報告していくブログの作成を行っている。随時更新しており、アンケート調査の詳しい結果や、試作品作りの過程なども載せている。また、アンケートの中で保護者の方々からいくつか質問も受けたので、その質問の応答なども行っている。これらのホームページは商品化した際にパッケージに載せ、その商品がどのように出来たのか簡単に見られるようにする予定である。



<http://kuina.okinawa-pc.ac.jp/wordpress/h137g/>

#### 6. おわりに

キャラ弁を作った事がある、又は作りたいと思っている方は多く、見た目を変える事で苦手な食材が食べられるようになったり、食欲増進につながったりする効果がある事を知った。今回の研究をもとに、今後も簡単にできる加工の方法や、素材の栄養素を活かしたアイデアレシピを発信していく。

# 課題実習「テーマ設定シート」

作成日：平成26年 9月 30日

科名：ホテルビジネス科

教科の科目		実習テーマ名	
総合制作実習		沖縄の食文化を身近にするキャラ弁レシピの作成	
担当教員		担当学生	
ホテルビジネス科 與儀 直美			
課題実習の技能・技術習得目標			
沖縄県の歴史・食文化をいかしたキャラ弁レシピを作成することで、現在の現状調査、キャラ弁レシピ企画、作成までの一連の流れを習得する。			
実習テーマの設定背景・取組目標			
実習テーマの設定背景			
沖縄においても、キャラ弁レシピに関する書籍が数多く市販されているが、まだまだ一過性であり定番になりうる物が少ない。子供用のキャラ弁レシピとしての「琉球キャラ弁レシピ」を開発することで沖縄をアピールし、子供たちの健康増進に貢献したい。			
実習テーマの特徴・概要			
・ 沖縄の食文化を調査することで先人の暮らしを理解し、これからのあり方を考察する。レトルト食品や料理をしない人が増える中、長寿県沖縄の食文化を再構築するためにも、新たに「キャラ弁レシピ」を作成し、皆へ周知する。			
No	取組目標		
①	情報収集後、スケジュールを作成する。		
②	沖縄の文化・歴史に関する調査、分析を実施し題材を選定する。		
③	選定した題材で試作品を模索し、作成する。		
④	アンケートを実施する。(保育園・幼稚園)		
⑤	結果を検証し改善を図り、完成品をつくる。		
⑥	完成したレシピを基に試作をする。		
⑦	試作品の評価を実際の園児等に依頼をする。		
⑧	結果をプレスリリースし、マスコミにアプローチする。		
⑨	研究内容の資料を作成し、プレゼンテーションする。		